

メディカルセミナーのご案内

放射線治療最前線～切らないがん治療～

がんは我が国の死亡原因第1位であり、国民の2人にひとりが一生に一度はがんを患い、3人にひとりががんで死亡し、年間100万人以上の方が新たにがんと診断されており、超高齢化社会のさらなる進展により、がん医療は国民の最大関心事のひとつとなっている。

一方で、がん根治を目指す医療技術の躍進は目覚ましく、がんに対する様々な治療法が確立・開発され、がんを患ってもその60%の方は5年生存できる時代となっている。特に、粒子線治療やIMRTなどの高精度治療に代表される放射線治療は手術・抗がん剤と並ぶがん治療の3本柱の一つであり、手術・抗がん剤と比較すると、低侵襲治療であり患者さんへの苦痛が少ない。放射線治療技術はさらなる進化を遂げ、ほぼ全身にわたる悪性腫瘍に対し、小児から高齢者、早期根治療法から緩和療法に至るまで適応を展開している。欧米ではがん患者さんの70%以上が一度は放射線治療が適応されているが、残念ながら本邦では30%程度である。本邦でほぼ最古の1920年に創設された当教室は、我が国で有数の規模を誇り、慶應義塾大学病院の全ての診療科および関連病院をサポートしている。最先端の放射線治療の臨床現場から、最新知見を分かり易くお届けする。

慶應義塾大学医学部放射線科教授

茂松 直之（しげまつ なおゆき）先生

講師紹介

<プロフィール>

- 1983年 慶應義塾大学医学部卒業
- 1985年 慶應義塾大学助手（専修医）（医学部放射線科学）
- 1986年 国立東京第二病院（現・独立行政法人国立病院機構東京医療センター） 出向
- 1988年 慶應義塾大学助手（医学部放射線科学）
- 1990年 米国アルゴンヌ国立研究所・シカゴ大学に留学
- 1993年 慶應義塾大学助手（医学部放射線科学）
- 1996年 慶應義塾大学専任講師（医学部放射線科学）
- 2006年 慶應義塾大学准教授（医学部放射線科学）
- 2009年 慶應義塾大学教授（医学部放射線科学）
慶應義塾大学病院放射線科診療部長
- 2010年 慶應義塾大学病院腫瘍センター放射線治療部門長 現在に至る



<免許・資格>

日本医学放射線学会認定放射線専門医、第1種放射線取扱主任者、日本核医学会専門医、日本医師会認定産業医、日本放射線腫瘍学会認定医→放射線治療専門医へ移行、日本がん治療認定医暫定教育医、日本がん治療認定医

<所属学会>

日本医学放射線学会理事、日本核医学会代議員、日本癌治療学会代議員、日本放射線腫瘍学会理事長、日本頭頸部癌学会、日本肺癌学会、日本内分泌外科学会評議員、日本内分泌学会、日本甲状腺外科学会理事、日本乳癌学会、日本食道学会評議員、日本定位放射線治療学会世話人、日本医学放射線学会関東地方会世話人、Radiation Research Society、American Society for Therapeutic Radiology and Oncology

セミナー概要

- <予約制> 【テーマ】 放射線治療最前線～切らないがん治療～
- 【講師】 慶應義塾大学医学部 放射線科教授
茂松 直之（しげまつ なおゆき）先生
- 【コーディネーター】 慶應義塾大学名誉教授
久保 敦司（くぼ あつし）先生
- 【日時】 2018年6月5日(火) 18時30分 開演
- 【会場】 東京国際フォーラム ホールD5
- 【費用】 無料ご招待

会場のご案内

～東京国際フォーラム ホールD5～

住所：東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

交通：JR線 有楽町駅より徒歩1分、東京駅より徒歩5分

日比谷線、銀座線、丸の内線：銀座駅より徒歩5分



お申込み・お問合せはBRBメディカルサロン事務局で承ります

TEL. 03-3343-4511 FAX. 03-3343-5845
(受付：月～金曜日9:30～17:30)



BRB MEDICAL SALON
to keep your health